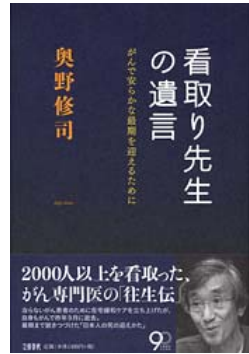


在宅緩和ケアの現場から 仙台での取り組み



- 1 岡部医院の紹介
- 2 在宅緩和ケアを通じて感じたこと
- 3 データ

2016/2/14
爽秋会 岡部医院 河原正典

医療法人社団 爽秋会

岡部医院の出発点

・1983年頃、宮城県立がんセンター勤務であった岡部は、入院中の末期がん患者さん達に、在宅療養を勧め、往診を開始した。その際、症状コントロールは入院中のそれと同水準であること、入院希望があれば必ず受け入れることを保証したところ、9割の患者さんは在宅で最期まで過ごすことを選択した。

医療法人社団 爽秋会

爽秋会



ふくしま在宅緩和ケアクリニック

平成19年に開院



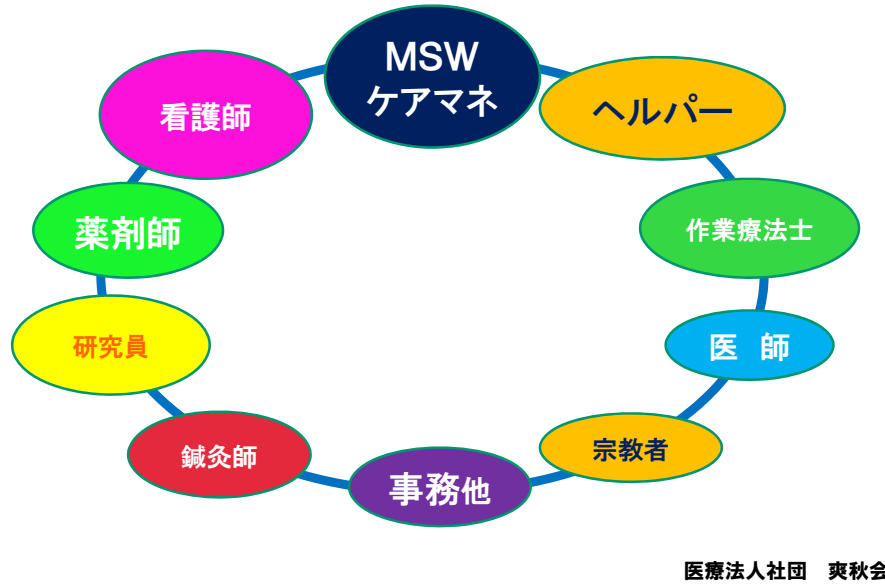
医療法人社団 爽秋会

～当院の1年間(2014年)～

| | | |
|-------------|-------|-------|
| 紹介数 | | 341名 |
| 在宅開始に至った患者数 | .. | 292名 |
| 在宅看取り数 | | 239名 |
| 転医等 | | 53名 |
| 紹介からの在宅移行率 | | 85.6% |
| 在宅看取り率 | | 81.8% |

医療法人社団 爽秋会

◇ 岡部医院多職種チームケア ◇



◇ 事 例 ◇

- ・介護保険：要支援1
- ・診 断 名：口腔内がん 腰椎圧迫骨折
- ・家族状況(介護力)：独居
他県に妹さん夫婦
仲の良いご近所さんがいる。

医療法人社団 爽秋会

経 過

- ・2ヶ月間入院
- ・継続的に医療的フォローが必要であり、退院にあたって在宅医を紹介される。
- ・退院する前に緩和ケア病棟を申し込んだ。

医療法人社団 爽秋会

お家での一週間

| 時 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 8 | | | | | | | |
| 9 | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん |
| 10 | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | |
| 12 | お弁当 | お弁当 | お弁当 | お弁当 | お弁当 | お弁当 | お弁当 |
| 13 | | | | | | | |
| 14 | 看護師 | 看護師 | ヘルパー | 医師 | 看護師 | ヘルパー | |
| 15 | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | |
| 17 | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん | ご近所さん |

医療法人社団 爽秋会

2ヶ月が経過

患者さん

緩和ケアに入院したくないね。
動けなくなったのにはガッカリしてるけど
特に困ってないよ。元々一人でいるのが
好き。私抜きで勝手に物事を決められる
のは一番嫌い。

最期まで自宅で過ごしたいという気持ち
や考えを皆で共有して、実現できるよう
にしましょう。

ケアマネ

医療法人社団 爽秋会

担当者会議

患者さん

緩和ケアに入院したくないね。
私はずっと最期まで家にいたい。

自分が望まない場所で暮らしたのでは
人生に悔いが残ると思う。
姉の思う通りの生活ができるように
最期まで応援します。

妹さん

関係者が思いや情報を共有して
みんな同じ方向を向いて支援する！

医療法人社団 爽秋会

2ヶ月半が経過

妹さん

姉さん、さっき、みんなに迷惑をかけて悪いねと
言ったけれど、本当に悪いと思うなら、私達に心
配かけないように施設に入ってちょうだい。今の
施設は個室で一人きりになれるし、スタッフも優し
く介護してくれるから

弱々しく頷く・・・

Bさん

方向変換！ 緩和ケア病棟に入院することになる。

医療法人社団 爽秋会

在宅緩和ケアの現場から 仙台での取り組み

- 1 岡部医院の紹介
- 2 在宅緩和ケアを
通じて感じたこと
- 3 データ



医療法人社団 爽秋会

緩和における在宅医療の必要性

- 社会事情
(医療費の削減?・ベッド数・入院日数など)
- 本人の希望
単純に家に帰りたいという欲求(権利)



看取りは医療が担うべきものなのか

自然現象としての「死」

自然現象としての死は医療の対象ではなく、
死の過程で強い苦痛を伴う異常な生理現象(疼痛等の諸
症状)が**医療の対象**

「死」そのものは家族・介護職・地域社会に返すべきでは、
そして、看取ることのできるものがあるのではないか

様々な問題

- ・風習(お墓、跡継ぎなど)と制度の乖離
介護休暇なども実際には・・・
- ・社会の変化が早い
(15でねえやは、嫁に行き)
- ・個人の価値観(家族との意見の乖離)
- ・地域によって、医療・介護資源が様々

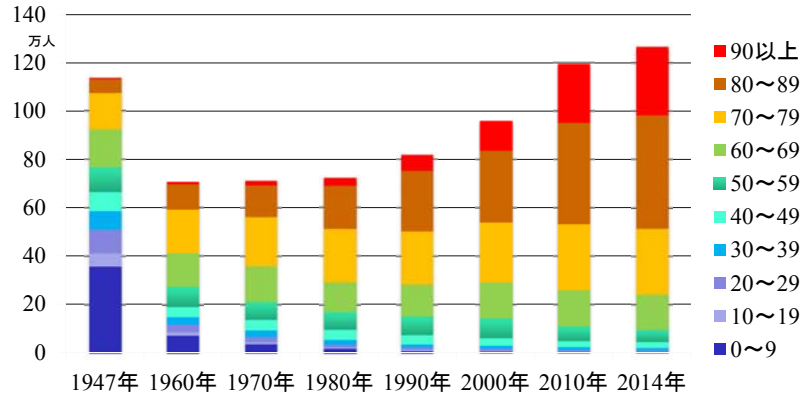
社会のコンセンサスはどのように形成されるのか?
医療者だけの議論では到底無理だとおもうのですが・・・。

在宅緩和ケアの現場から 仙台での取り組み

- 1 岡部医院の紹介
- 2 在宅緩和ケアを
通じて感じたこと
- 3 **データ**



日本の年齢別死亡数の推移をみたもの

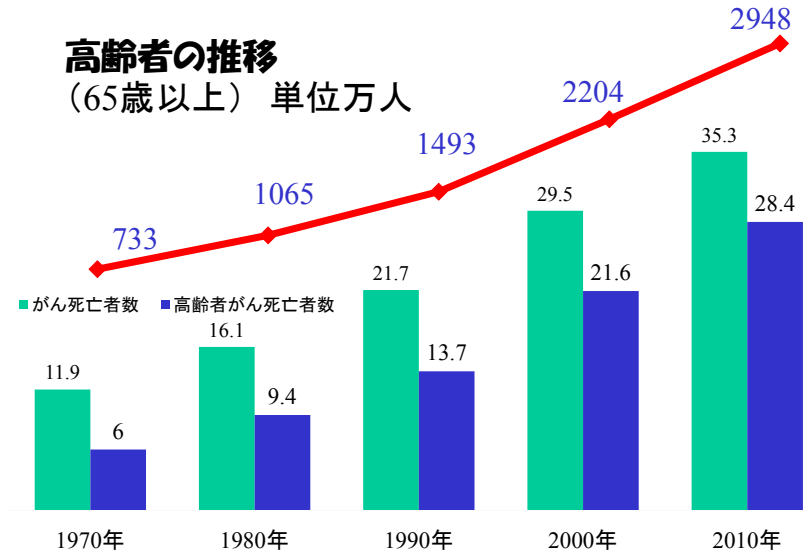


厚生労働省人口動態統計より改変

現代は、亡くなる方の多くは70歳以上
亡くなる方の約半分は80歳以上

医療法人社団 爽秋会

高齢者の推移 (65歳以上) 単位万人

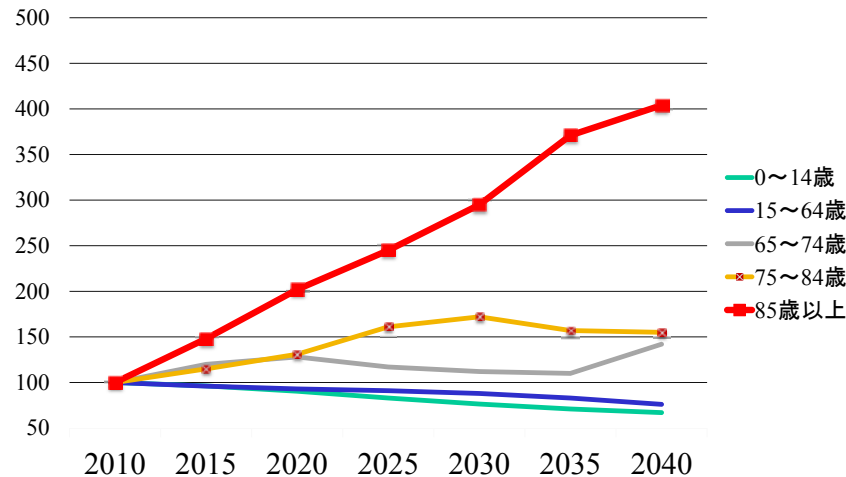


厚生労働省人口動態統計より改変

高齢者人口の推移とがん死亡者数の推移はきれいに相関。
これからは、高齢者のがん死が増加すると思います。

医療法人社団 爽秋会

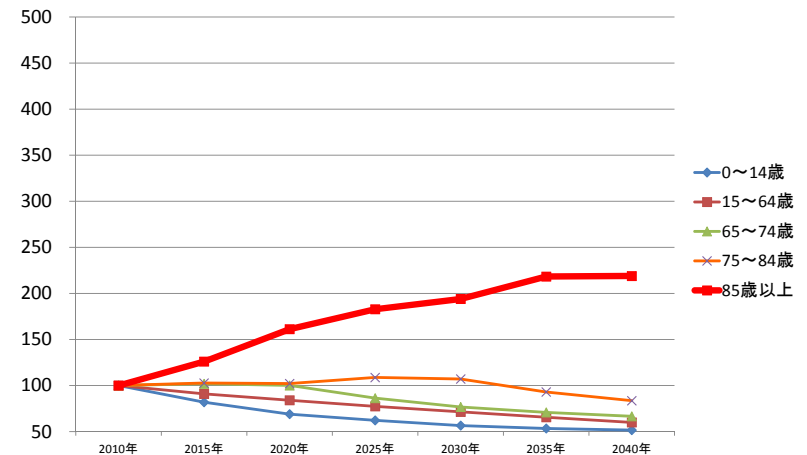
仙台市における年齢階級別人口の伸び率 (2010年を100とした場合)



出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成24年1月推計)」

医療法人社団 爽秋会

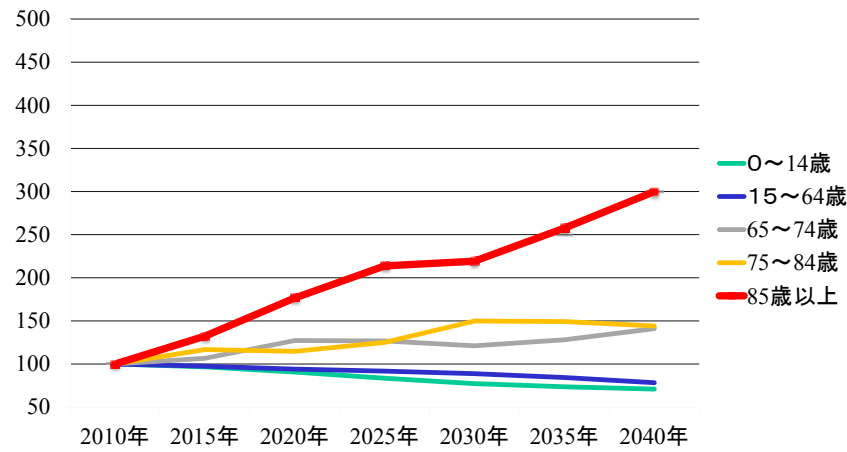
気仙沼市における年齢階級別人口の伸び率 (2010年を100とした場合)



出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成24年1月推計)」

医療法人社団 爽秋会

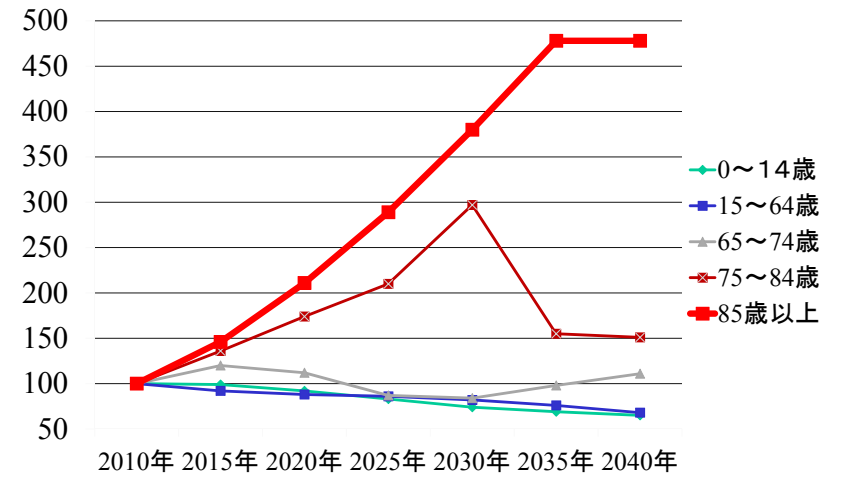
那覇市における年齢階級別人口の伸び率 (2010年を100とした場合)



出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成24年1月推計)」

医療法人社団 爽秋会

多摩市における年齢階級別人口の伸び率 (2010年を100とした場合)



出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口(平成24年1月推計)」

医療法人社団 爽秋会